

# 室蘭工業大学-学報

NO.663



松田瑞史×毛利衛 北海道新聞 特別対談  
(17ページに関連記事あり)

2025年 1月号

## 目次

## ◇ トピックス ◇

第51回蘭岳コンサートを開催	1
室蘭工業大学パブリックリレーションズオフィスニュースレター第1号を発行	2
社会人研修プログラム（令和6年度第4回胆振管内社会教育主事等研修会）を実施	5
本学学生が国際会議GCCE 2024にてIEEE GCCE 2024 Excellent Student Poster Awardsを受賞	6
大連理工大学 宋丹（SONG Dan）副学長らが室蘭工業大学を表敬訪問	7
日本学術会議北海道地区会議学術講演会で太田香教授が講演	9
本学学生が第20回キャンパスベンチャーグランプリ北海道大会（cvg北海道）において奨励賞を受賞	10
QSアジア大学ランキングで621-640位にランクイン	11
THE学際的科学ランキング2025に道内の大学で唯一ランクイン	12
登別ときめき大学で董冕雄副学長が講演	13
北海道室蘭清水丘高校の1年生がコンピュータ科学センターを訪問	14
新たな共創拠点（札幌サテライトオフィス・エア・ウォーターの森）を開設	15
本学アカペラサークルGleeGroundがアカスピEXTRA バラード・ジャズ全国大会で3位入賞	16
新たな共創拠点（札幌サテライトオフィス・エア・ウォーターの森）のオープニングイベントに参加	18
松田瑞史×毛利衛 北海道新聞 特別対談「真なる探究心から未来の価値づくりを。」	19
室蘭工業大学創立75周年記念・第4回コンピュータ科学トップランナーセミナー×本学OBによる生成AI未来セミナーを開催	22
「世界のトップ2%の科学者」に本学から5人がランクイン	23
第55回室蘭工大国際セミナーを開催	24
「ダイバーシティ社会と女性技術者」をテーマに学部生を対象としたキャリアデザイン講義を実施	25
第34回テクノカフェを開催	26

## ◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ	27
受託研究等の受入れ	28
奨学寄附金の受入れ	29

## ◇ 人 事 ◇

人事異動	30
------	----

## ◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催	31
-------------	----

## ◇ 日 誌 ◇

学内行事・学外行事	32
-----------	----

## ◇ 人物図鑑 ◇

室蘭工業大学人物図鑑 part. 6～10	33
-----------------------	----

## トピックス

# 第51回蘭岳コンサートを開催

令和6年11月23日(土)に大学会館多目的ホールにおいて、第51回蘭岳コンサートを開催し、市民、教職員及び学生約110名が演奏を楽しみました。

今回は、オランダ在住のチェリストのルーランドさん、ピアニストの田中理恵さんをお招きし、クラシック音楽やジブリメドレーなどの演奏をしていただきました。

観客は、演奏者の高度な演奏技術や司会の出雲路さん

のユーモアあふれる解説に魅了されていました。

なお、今回のコンサートにおいて、「令和6年能登半島地震災害義援金(石川県、富山県、新潟県、福井県)」をお願いした結果、皆様から寄せられた義援金は9,579円となりました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、ご報告を申し上げます。



ルーランドさんと田中さん



司会の出雲路さん



田中さんのソロ



ルーランドさんのソロ



3名によるトーク

## 室蘭工業大学パブリックリレーションズオフィス ニュースレター第1号を発行

室蘭工業大学パブリックリレーションズオフィスでは「室蘭工業大学の知られざる価値を地域に届ける」ことを目標に活動しています。その活動の一つである、室蘭工業大学の教職員の皆さんと協働で推進する「社会的インパクト表現プロジェクト」がスタートしました。

ニュースレター第1号では、パブリックリレーションズオフィス長の山中真也教授とオフィスメンバーの山田祥子准教授による、このプロジェクトの活動内容とこれからの計画についての対談記事です。ぜひ、ご覧いただき、アンケートへのご協力をお願いいたします。

### アンケートフォーム

<https://forms.office.com/r/sVtnmxtGfU>

### お問い合わせ先：

室蘭工業大学パブリックリレーションズオフィス  
office-pr@muroran-it.ac.jp

Office for Public Relations

# NL

November 2024

室蘭工業大学  
パブリックリレーションズオフィス  
ニュースレター 第1号

## 社会的インパクト 表現プロジェクト

Project for expression  
of social impact

# 01



室蘭工業大学 しくみ説明系領域  
化学生物工学ユニット 教授

山中 真也 先生



室蘭工業大学 ひと文化系領域  
言語科学・国際交流ユニット  
准教授

山田 祥子 先生



### プロジェクトが 始まるまで

室蘭工業大学(以下、室工大)は「創造的な科学技術で夢をかたちにした」という理念を掲げ、教育・研究・社会との共創に取り組んできました。

令和6年度から新たに、「真なる探究心から未来の価値づくりを。」という学長ビジョンが掲げられました。この「価値づくり」は、2060年の世界からバックキャストして作り上げた「北海道MONOづくりビジョン2060ー『ものづくり』から『価値づくり』へ」にも示されています。

「価値づくり」は、新たな活動からだけでなく、実はこれまでの活動と社会との関係の中からもすでに生み出されています。そこで、このような考えに基づき、教職員一人ひとりが、社会とのつながりをおして自身の活動を見つめ直すことで価値を発見し、その価値を表現する「室工大社会的インパクト表現プロジェクト」が立ち上がりました。

このプロジェクトを推進するのはMONOづくりみらい共創機構の組織のひとつ、パブリックリレーションズオフィスの(以下PRオフィス)です。

PRオフィス長の山中真也教授と

## 社会的インパクト 表現プロジェクト

一人ひとりが活動を見つめ直す

理工学的なアプローチで

地域社会とともに歩んできた室蘭工業大学。

その活動は社会にどのような変化をもたらしているでしょうか？

そして、これから、どのような変化をもたらすでしょうか？

地域社会とのコミュニケーションと協働によって、

新しい連携プラットフォームやエコシステムを

創り出すことにつながります。

さあ、地域社会に与える影響、

「社会的インパクト」の表現を始めましょう!



PRオフィス立ち上げのタスクフォースから関わっている山田祥子准教授に、このプロジェクトをどのように進めているかとお話伺いました。

### 社会的インパクトを 表現するとは

一室工大の社会的インパクト表現プロジェクトの具体的な活動を教えてください。

山中 室工大の構成員である教職員の活動が社会や環境にもたらした変化や効果である、社会的インパクトを可視化して、学内外に広く知ってもらう活動です。

山田 これまで、例えば研究者は論文数や研究資金の獲得数といったアウトプットで評価される部分が多かったですよね。でも最近では、その研究活動や教育活動、あるいは共創活動が、社会をどう変えたかという成果としてのアウトカムが評価されるようになってきました。また、アウトカムの積み重ねによってもたらされる中長期的な変化、ないし実質効果を「社会的インパクト」といいますが、それを創り出すことも求められてきています。

そこで、室工大の社会的インパクトをどのように表現し、発信するかを考える、社会的インパクトタスクフォースが作られ、その中で、このプ

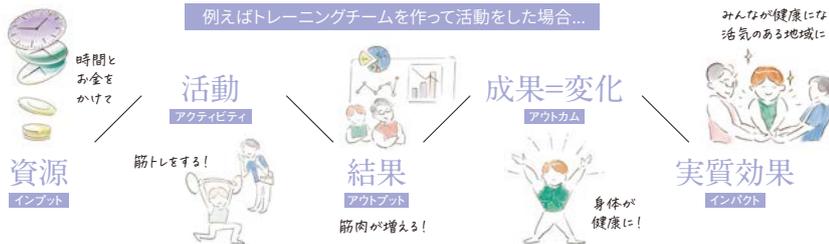
ロジェクトが企画されました。

山中 教職員の活動の社会的インパクトには、さまざまな形があります。例えば、地域の経済が活性化したり、人々のつながりが変化したり、自然環境に影響したりといった形です。社会システムに対する影響である社会的インパクトは、個人によっても、あるいは同じ教員でも研究活動や教育活動や社会との共創活動といった活動内容によっても異なると思います。

だから、まずは室工大の教職員一人ひとりが、自分の活動に関係する社会的インパクトをよく理解した上で、それを表現する必要があると考えています。

## 社会的インパクトってなに？

例えばトレーニングチームを作って活動をした場合...



### 今ある原石を磨き上げるだけで

—社会的インパクト表現プロジェクトを進めるための具体的な方法を教えてください。

**山田** 教職員が実施している活動をピカピカに磨いて見せることで、社会的インパクトとしての価値が見えてくるようにしたいと考えています。

本プロジェクトの理念をつかった船水尚行・元理事が「すでにこの大学の中に在る“価値”を、うまく表現するだけでよい」とよく言われていたように、社会的インパクトの原石ともいえる素材はすでに在ります。

具体的なステップとしては、まず教職員の活動の結果であるアウトプットが社会にもたらす成果、アウトカムに注目してもらいます。次に、そのアウトカムから、こちらが提示する9つの指標を使って、社会的インパクトを捉えてもらうようにします。そうして、教職員が自らの活動によって社会に引き起こされる中期的な変化を可視化する。私たちはこのプロセスをサポートしようと考えています。

本プロジェクトは、教職員「自ら」が社会的インパクトを表現すること

を目指しています。学内で行われている活動がより輝くために、事例という形でヒントを出して、その価値に気づいて表現してもらおう手伝いになります。

### 価値を見つける9つの指標とは

—社会的インパクト表現プロジェクトで9つの指標が示されていますが、どのように使えばよいのでしょうか？

**山中** 教職員一人ひとりが、この社会的インパクトの9つの指標を活用し、自分の研究の価値を可視化してもらいたいと思っています。

**山田** この9つの指標を使う理由は、いきなり社会的インパクトを表現してくださいと言われても難しいと思うからです。室工大で行われている研究は多様なので、いろいろ検討した上で、9つの指標が選ばれました。もしかしたら足りないかもしれませんが、この中から、自身の活動にあてはまるものを選んでもらって、表現するきっかけになればと思っています。

例えば、私の研究や社会との共創活動は9つの指標のうちの「交流」にあてはまると考えます。私は言語学の立場からサハリンの先住民の

## 室工大の社会的インパクト表現のための9つの指標はなにがあるの？



文化を研究しているのですが、それを本やイベントで紹介すると、興味を持った人がいつかサハリンに旅行するかもしれません。あるいは、社会との共創活動でアイヌ文化のことを室工大で紹介したら、学生や市民が、アイヌ文化って面白いと思って、例えばアイヌ文化の伝承者との交流が生まれるかもしれません。このようにして、人と人とのつながりが

広がったら、社会的インパクトとして考えられるのではと思っています。

**山中** 自身の活動の社会的インパクトを自分で気づくことが大事なので、とりあえず、9つの指標からあてはまりそうなものを選んでもらい、価値を見つけ出してもらいたいと思っています。

## 本プロジェクトが進める社会的インパクト“表現”はどうやって進める？



### プロジェクトを進めるために

—社会的インパクト表現プロジェクトでは、どのような計画を考えていますか？

**山中** 事例紹介や気づきの機会を作ることを考えています。

まず、PRオフィスが発行するニュースレターで、地域と一緒に活動している室工大の教員の事例を

紹介したいと思っています。それを参考にすることで、一人ひとりが自分自身のことを振り返る機会となることを期待しています。

**山田** 文系や基礎研究はすぐに実学に結びつかないなど、分野によって不利に感じられる場合もあると思います。現在、教職員自身で表現できるように、このプロジェクトを進めています。事例を紹介することで、社会的インパクトを表現しやすく

なると良いと思っています。

**山中** 令和7年1月8日には社会的インパクト表現ワークショップの開催を企画しています。社会的インパクトについての理解が深まり、自身の活動を他の人と話すことで、思わぬ気づきがあるかもしれません。

**山田** さらに、大学として次のステップである社会的インパクトの「評価」をどのように進めていくかについても、検討してゆきます。個人

が社会的インパクトを表現できるようになることが、組織として社会的インパクト評価を受ける備えになると思っています。



### Contact us



「室蘭工業大学の知られざる価値を地域に届ける」  
室蘭工業大学パブリックリレーションズオフィス

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号 Email: office-pr@muroran-it.ac.jp

### Questionnaire

室蘭工業大学パブリックリレーションズ  
オフィスニュースレター第1号の  
アンケートにご協力ください。

<https://forms.office.com/r/sVtnmxtGfU>



## 社会人研修プログラム（令和6年度第4回胆振管内社会教育主事等研修会）を実施

令和6年11月19日(火)に本学C205講義室、ものづくり基盤センター及び附属図書館において、社会人研修プログラムの一環として、令和6年度第4回胆振管内社会教育主事等研修会を実施しました。

はじめに、ものづくり基盤センター長の清水教授から

「ものづくり・ひとづくり」と題して講演を行い、午後からのものづくり体験では、錫を使ったカントリーサイン作りを行いました。最後に、ものづくり基盤センターと附属図書館の見学を行いました。



清水センター長による講演



清水センター長による実演



ものづくり体験



ものづくり基盤センターの見学（清水センター長による説明）



附属図書館の見学（佐々木係長による説明）

## 本学学生が国際会議GCCE 2024にてIEEE GCCE 2024 Excellent Student Poster Awardsを受賞

令和6年10月29日(火)～11月1日(金)に開催された国際会議2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024)にて、本学大学院工学研究科環境創生工学系専攻土木工学コースの柳澤ひかりさんが受賞しました。本賞は、同国際会議の150報を超える発表の中から3名に贈られます。

### 【受賞内容】

柳澤ひかり  
(浅田研究室、大学院工学研究科博士前期課程2年)  
IEEE GCCE 2024 Excellent Student Poster Awards  
Digital Maintenance of Cycle Routes by Using AI-Based Pavement Inspection Technology  
Hikari Yanagisawa, Takumi Asada and Takashi Kobayashi

### 【受賞コメント】

この度は、国際会議GCCE2024において賞を頂き、嬉しく思います。北海道の観光資源の一つであるサイクルルートの快適性と安全性の向上に向けて、研究室独自に構築したAI型道路モニタリング技術の有用性と可能性を示したいと思い、精力的に現地調査や分析を続けてきました。今回は、他分野である情報工学系の研究が集まる学会での発表にチャレンジしました。

ご指導いただいた浅田准教授をはじめ、調査等でご支援いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。



左：浅田准教授 右：受賞した柳澤ひかりさん



表彰状

## 大連理工大学 宋丹 (SONG Dan) 副学長らが 室蘭工業大学を表敬訪問

令和6年11月14日(木)に大連理工大学副学長・宋丹 (SONG Dan)氏、及び人事部長・丛丰裕 (CONG Fengyu)氏、国際交流部長・王珏 (WANG Jue)氏、建設工業部長・李钢 (LI Gang)氏、大連理工大学副学長(大連理工大学立命館大学国際情報ソフトウェア学部) 林林 (LIN Lin)氏が増田隆夫理事を表敬訪問しました。

増田理事は大連理工大学宋副学長らによる本学来訪を歓迎し、令和2年より大連理工大学と国際学術交流協定姉妹校となり、本学の窓口教員である董副学長・曲教授らと共に将来的な連携に前向きな意見交換が行われました。

本年、董副学長と本学関係者が大連理工大学を訪問し、ソフトウェア学部研究室を見学し、交流を深めて参りました。

大連理工大学 (Dalian University of Technology) は、遼東半島の南に位置する港町である大連市に所在する理工系の大学であります。1949年設立された大連大学工学院を起源とし、教育部直属の全国重点大学で、「211プロジェクト」と「985プロジェクト」に指定されている遼東省を代表する名門校になります。同大学は理工学を主

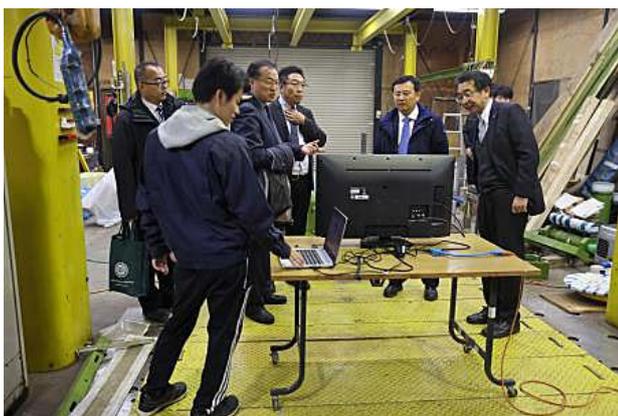
とし、経済、人文社会などの学科も併設されており、教職員数は4,321人、学生数は42,187人の総合大学規模の大学です。

表敬訪問前に川村志麻副学長の研究室を見学し、自然災害・防災技術・積雪寒冷地にある斜面の崩壊するメカニズムの解明、予測の提案など川村副学長から自然災害に関わる実践的な教育や先端技術の研究等説明を受けておられました。

### 【来訪者】

- ・宋丹 Prof. SONG Dan, Vice President
- ・丛丰裕 Prof. CONG Fengyu  
Director of Office of Human Resources
- ・王珏 Ms. WANG Jue Director of International Office
- ・李钢 Prof. LI Gang  
Dean of School of Infrastructure Engineering
- ・林林 Prof. LIN Lin  
Vice Dean of School of software Technology & DUT-RU international school of information science and Engineering

【関連リンク】 室蘭工業大学 学報 10月号 (No.660)



川村副学長のラボを見学



情報交換の様子



集合写真

後列左から、曲教授、李教授、王氏、太田教授、丛教授、白准教授、林教授  
前列左から、増田理事、宋副学長、董副学長

## 日本学術会議北海道地区会議学術講演会で 太田香教授が講演

令和6年11月17日(日)に北海道大学で、日本学術会議北海道地区会議学術講演会「北海道から多文化共生を考える」が開催され、講師として本学コンピュータ科学センターのセンター長 太田香教授が講師を務めました。

本講演会は先住民・マイノリティーと外国人にかかわるさまざまなテーマを取り上げて、文化人類学からコンピュータ科学に至る多様な学問分野および教育・医療・就労現場の視点から論じるもので、太田教授は「コンピュータ科学で繋がる多様性社会・北海道から始まる新たな未来」という演題で多文化共生を実現するにあたっての課題や取り組みについて講演をしました。



講演をする太田香教授

## 本学学生が第20回キャンパスベンチャーグランプリ北海道大会（cvg北海道）において奨励賞を受賞

第20回キャンパスベンチャーグランプリ北海道大会（cvg北海道）は、北海道にある大学等に在籍する学生が自分たちの考えたビジネスプランを発表する大会です。26件の申請の中から5件が書類選考に合格し、最終審査会に挑みます。

本学学生の葛西芳枝さん、太田錬さんの『脱空き家！後世の「空き家ストック」利活用』に関するプランが評価され、書類選考を通過しました。令和6年11月26日に開催された最終審査会において審査委員へのプレゼンテーションや質疑応答を行い、奨励賞を受賞いたしました。

### 【受賞内容】

葛西芳枝（市村恒士研究室 大学院博士後期課程1年）  
太田 錬（市村恒士研究室 大学院博士前期課程2年）

「脱空き家！後世の「空き家ストック」利活用」  
第20回キャンパスベンチャーグランプリ北海道大会 奨励賞（令和6年11月26日）

### 【受賞コメント】

最終審査に参加でき奨励賞をいただけたことを大変嬉しく思っております。

提案内容についてご指導ご助言をいただいた市村恒士教授をはじめアイデアのヒントを気づかせてくれた企業の方や地域の方のおかげで実現できた提案だと思っております。

今回の受賞によって課題も見つかったため、研究で得た知識を活かし事業での課題解決を目指してさらにブラッシュアップを重ねていきたいと考えております。



受賞した葛西芳枝さん（左）、太田錬さん（右）



表彰状

## QSアジア大学ランキングで621-640位にランクイン

イギリスのQS社から、2024年11月にQSアジア大学ランキングが発表され、室蘭工業大学は621-640位にランクインしました。

QSアジア大学ランキングは日本、中国、インド、韓国、シンガポールなどのアジア圏の大学のうち、984大学がランクインし、日本からは115大学がランクインしています。

特に道内では、北海道大学に次いで、本学がランクインしています。

QSアジア大学ランキングは、英国の高等教育専門調査会社（QS Quacquarelli Symonds Limited）が毎年発

表しており、世界的な認知度、研究能力、教育資源、国際化などを評価しているランキングとなっています。また、第三者評価が大きな割合を占め、大学のブランド力、イメージが影響する世界で最も参考にされている世界大学ランキングの一つです。

室蘭工業大学は今年度から『真なる探究心から未来の価値づくりを。』を新たなキャッチコピーとして、延べ40,000人余の同窓生の活躍を実績として教育改革を進め、地域にそして世界に貢献できる理工系学生の育成に邁進します。



## THE学際的科学ランキング2025に 道内の大学で唯一ランクイン

令和6年11月21日(木)タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (Times Higher Education) が学際的科学ランキング2025を発表し、室蘭工業大学は601+位にランクインしました。国内から全33大学がランクインしており、北海道内では唯一のランクインとなっております。

<https://www.timeshighereducation.com/interdisciplinary-science-rankings>

学際的科学ランキングは、大学内での「学際的研究の促進」に重点を置いているランキングです。

学際的とは、研究や事業が複数の学問分野にまたがることを指し、異なる学問分野の知識や手法を組み合わせることで、より総合的な理解や解決策を得ることです。

学際的研究を3つの指標から評価している本ランキングで、本学は特に「Inputs (研究収入等)」、「Process (研究の課程)」の2つの指標で、高く評価されています。

室蘭工業大学は今年度から『真なる探究心から未来の価値づくりを。』を新たなキャッチコピーとして、延べ40,000人余の同窓生の活躍を実績として教育改革を進め、地域にそして世界に貢献できる理工系学生の育成に邁進します。

**Interdisciplinary Science  
Rankings 2025**  
Powered by 

In association with



## 登別ときめき大学で董冕雄副学長が講演

登別市主催の市民向け生涯学習講座「登別ときめき大学」基礎コース講座第6回目の講師を本学の董冕雄副学長が務めました。

登別ときめき大学とは、社会・経済・文化・歴史などさまざまな分野をテーマに学ぶことができる講座です。

昨年は本学コンピュータ科学センターのセンター長太田香教授も講師を務め、受講者の中には昨年の講演にも参加して下さっている方も多数いらっしゃいました。

今回の講演では「防災から医療までコンピュータ科学が叶える未来と現在地」というタイトルで、災害時に基地局を介さずに通信を可能にするシステムや医療とAI

を連携して患者さんの検査をもっと楽にする研究などを紹介し、受講者は興味深く聞き入っていました。また、このような研究を進めるにあたって、今後のコンピュータ科学を研究する人材の育成・支援の重要性を説き、北海道の未来を北海道の道章「七光星」に願いを込める形で講演を結びました。

開催日：令和6年11月29日(金)

場 所：登別市民会館

参加者：約40名



講演をする董副学長

## 北海道室蘭清水丘高校の1年生が コンピュータ科学センターを訪問

北海道室蘭清水丘高等学校の1年生4名が、コンピュータ科学センターを訪れました。

一行は「総合的な探究の時間」の一環として、本学を訪問しました。生徒たちは、自分たちの興味関心に基づいて深い学びに挑戦するというテーマのもと、多数あるテーマの中から「防災×AI」を選び、「なぜ防災×AIなのか」という疑問に対して董副学長に多数の質問をしておりました。

生徒たちは、董副学長の説明を真摯に聞いており、身近な「防災」というキーワードに「AI」を組み合わせ、自分たちが今後どのように動いていけるのかということを活発に議論しておりました。

実施日：令和6年12月2日(月)15時00分～15時45分

場 所：コンピュータ科学センター

参加者：生徒4名



董副学長の説明を真剣に聞く生徒たち



集合写真

## 新たな共創拠点（札幌サテライトオフィス・エア・ウォーターの森）を開設

このたび、札幌市の共創拠点としてエア・ウォーターの森（札幌桑園）に室蘭工業大学札幌サテライトオフィスを開設しましたので、お知らせします。

施設内には、エア・ウォーターグループの食材を活用したレストラン・カフェやキッチンラボを完備し、食への新たな取り組みを幅広く発信できる場にもなっています。また、コワーキングエリアやホールでは北海道の潜在力を活かした社会課題解決のための交流会やイベント、新ビジネスへの支援など様々な取り組みが行われる予定です。

室蘭工業大学は、この新たな拠点を中心に、本学が掲げる「学長ビジョン」、「北海道MONOづくりビジョン2060」実現のための様々な活動を展開します。また、これまで共創を進めてきたエア・ウォーター株式会社を

はじめとする企業、自治体、研究機関、同窓会など様々な関係者の皆様と共に、新しい価値の創造や北海道の将来に貢献するための共創活動を推進し、北海道を「世界水準の価値創造空間」にすることを目指してまいります。

### 札幌サテライトオフィスの概要

〒060-0008

北海道札幌市中央区北8条西13丁目28-21

エア・ウォーターの森 2F 206室

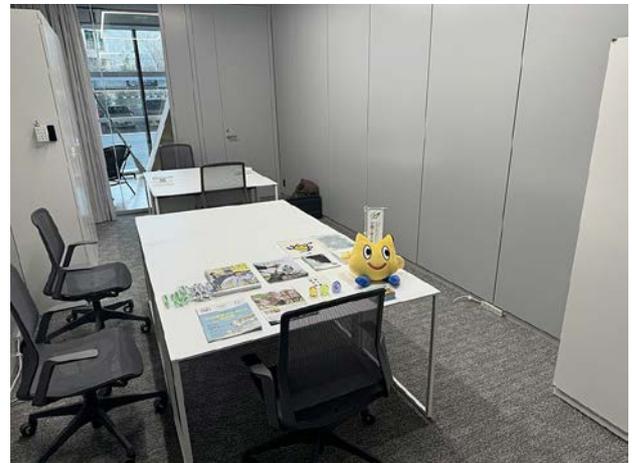
営業時間：平日10時から17時

サテライトオフィスに御用の方は、事前に以下メールアドレスまで訪問予約（訪問日時、訪問目的、人数など）をお願いいたします。

E-mail : [airwater-souen@muroran-it.ac.jp](mailto:airwater-souen@muroran-it.ac.jp)



エア・ウォーターの森 外観



室工大札幌サテライトオフィス

## 本学アカペラサークルGleeGroundが アカスピEXTRA バラード・ジャズ全国大会で3位入賞

Acappella Spirits!は、2012年から行われているアカペラ全国大会で、全国に約250団体存在する大学アカペラサークルや約70団体存在する社会人団体、その他一般からの公募で各地区大会を経て各ブロックから代表グループが競う大会です。Acappella Spirits!本大会と同時にアカペラの演奏形態や構成、ジャンルごとに設定された部門別全国大会も行われます。「アカスピEXTRA バラード・ジャズ 全国大会」はその部門別大会の一つです。全国規模で行われるいわばアカペラの甲子園のような位置づけの大会で、日本最大のアカペラ競技大会でもあります。

今年も公開されているだけで700を超えるグループが全国から応募され、動画審査ののち各地方大会（現地審査）が行われます。

今回出場したインカレグループ「さくら音」は北海道

教育大学札幌校アカペラサークルkapelaのOG 2名、本学アカペラサークルGleeGround 3名（菊池拓人、池本喜、森川宏太郎）計5名からなります。

札幌と室蘭にそれぞれ住んでいるメンバーですが、基本的に練習は環境の整っている本学の合宿研修所や多目的のホールで多い時で週3回行いました。

練習の結果、第13回Acappella Spirits!本大会にはおしくも全国大会に進めませんでした。ジャンル別全国大会への出場権を獲得し、この度11月17日(日)に横浜で行われた「アカスピEXTRA バラード・ジャズ 全国大会」で3位入賞いたしました。

### ～さくら音 演奏曲目～

明日へ向かう人/半崎美子

いのちの歌/竹内まりや



さくら音 ステージ



### インカレグループ「さくら音」

左から>森川宏太郎さん（本学学生）、  
菊池拓人さん（本学2022年度卒業生）、  
菊池野乃花さん（北海道教育大学札幌校  
アカペラサークル[kapela]OG）、  
松本佳子さん（同左）、池本喜さん（本学学生）



森川宏太郎さん（本学学生）



菊池拓人さん（本学2022年度卒業生）



菊池野乃花さん  
（北海道教育大学札幌校アカペラサークル[kapela]OG）



松本佳子さん  
（北海道教育大学札幌校アカペラサークル[kapela]OG）



池本喜さん（本学学生）

## 新たな共創拠点（札幌サテライトオフィス・エア・ウォーターの森）のオープニングイベントに参加

令和6年12月6日(金)に本学が新たに札幌市に開設した共創拠点エア・ウォーターの森（札幌桑園）でオープニングイベントが開催されました。鈴木北海道知事、秋元札幌市長、寶金北海道大学総長なども参加した式典には、本学から松田学長、佐藤理事、増田理事、市村副学長及び吉成MONOづくりみらい共創機構副機構長が参加しました。

式典後の交流会で入居者代表として挨拶した松田学長は、「この新たな共創拠点を通じて、他の入居者との交流を進め、社会共創の拠点として様々な価値の創出につながる取組みが進められることを大いに期待している。」と話しました。

また、午後から開催された「未来のエネルギー革命～脱炭素と水素の可能性～」をテーマとしたイベントでは、本学の亀川教授が講演を行いました。

本学は、この新たな拠点を中心に、本学が掲げる「学長ビジョン」及び「北海道MONOづくりビジョン2060」実現のための様々な活動を展開します。また、これまで共創を進めてきたエア・ウォーター株式会社をはじめとする企業、自治体、研究機関、同窓会など様々な関係者の皆様と共に、新しい価値の創造や北海道の将来に貢献するための共創活動を推進し、北海道を「世界水準の価値創造空間」にすることを目指してまいります。



交流会で入居者代表として挨拶する松田学長



集合写真

(右から永井特命支援員、吉成教授、市村副学長、松田学長、亀川教授、佐藤理事、増田理事、北海道大学寺内副理事)

## 松田瑞史×毛利衛 北海道新聞 特別対談 「真なる探究心から未来の価値づくりを。」



1992年、日本人初の宇宙飛行士としてスペースシャトルに搭乗した毛利衛氏。北海道新聞（令和6年12月14日掲載）の特別対談において、現在も最先端の科学技術の普及と研究者の人材育成に努めている毛利氏と室蘭工業大学 松田瑞史学長に、これからの社会が求める高度理工系人材について語り合っていました。

### 室工大の強みの一つは国内唯一の高速走行軌道設備を有する「航空宇宙工学」

毛利：貴学の航空宇宙工学分野は、国内唯一の実験設備を有し、新たな価値を生み出すのに相応しい環境ですね。

松田：本学では、今後発展が見込まれる航空宇宙産業に貢献できる人材の育成にも力を入れています。航空宇宙工学コースの教授陣はJAXAや重工メーカー出身者が多く、学生は航空宇宙工学の根幹となる専門知識を修得できます。また、航空宇宙機システム研究センターでは、北海道の広大な土地を活かした大型研究プロジェクトを実施しております。中でも、1t級までのロケットエンジン試験が可能な白老エンジン実験場には、800mの滑走路や国内唯一の高速走行軌道設備などを有し、JAXAや民間企業との共同研究にも活用されています。

毛利：国は今後、宇宙関係予算を大幅に増やし、企業や大学の技術開発を支援すると発表しているので、学生や



毛利 衛氏



松田 瑞史 学長

研究者にとって良いチャンスですね。将来的にどう宇宙を利用していか、どうビジネスにつなげて社会に還元できるかを考えていくとよいですね。室蘭工業大学が白老エンジン実験場を有していることに大きな価値があると思います。

**半導体分野で日本が世界に存在感を示すには、大学院進学者を増やすしかない**

毛利：経営者の多くが女性活用を、これからの企業発展に直結すると考えています。日本のためにも理工系女子学生がぜひ増加してほしいですね。

松田：本学の女子入学者の割合は約14%で、少ない状況です。この状況を打開するため、2025年度入試から、総合型選抜で女子を対象とする「女子枠」を新設しました。将来的に女子学生30%を目指し、多くの女性技術者や研究者を世に送り出したいと思っています。

毛利：学生たちの親御さんにとって、最も心配なのは就職先です。北海道であれば次世代半導体の製造を目指すラピダス社の工場建設が進み、道内の産業構造は大きく変わると思います。男女を問わず仕事も増えていくでしょう。

松田：近年、学生たちには大学院への進学を勧めるようにしています。大学院は、大企業への就職など学部卒を上回る就職率の実績があり、学生の将来の可能性を広げることができます。大学院博士前期課程への進学率50%以上を目指しています。

毛利：大切なことですね。半導体産業分野で日本が世界に存在感を示すなら、

学部卒の知識や経験では足りません。日本の企業を支えるために、今や大学院進学は必須ですし、就職にも有利ですね。

**「専門」×「情報」で高度理工系人材を育成**

松田：これからの時代、専門分野だけでなく、数理・データサイエンス・AIなどの素養をもつ人材も求められるため、理工系専門分野のカリキュラムに加え、全学必修の情報教育も行っています。「専門」×「情報」という掛け算で知見や発想が増えていきます。

毛利：生成AIはとても便利で、大学の課題などで自分が考える程度の文章は簡単に作れます。しかしあくまで道具の一つなので、AIで自分に何ができるのか、自身の存在意義を考える場が大学だと思います。

松田：いつも学生たちには、社会に出たときに自分に何ができるかを意識しながら学んでほしいと伝えています。2019年に工学部から理工学部に改組して以降、「ものづくり」に加えて「価値づくり」にも力を入れています。本学は「真なる探究心から未来の価値づくりを。」をキャッチコピーに掲げました。5年、10年先の社会に向けて、社会課題解決につながる探究心を育み、産業の芽を興せるような高度理工系人材の育成に取り組んでいきたいです。

毛利：モノがない時代ならモノが欲しくなりますし、充足すると今度は違う価値が欲しくなります。社会が評価した価値こそが、社会が未来に生き延びるための価値だといえます。地域社会と地球社会どちらも大切です。受験生を含む若い世代の皆さんには、自分の住む地域と人類社会が生き延びるための価値づくりにぜひ挑戦してほしいです。室蘭工業大学には自分を試す面白い学びがたくさんありますね。

松田：室蘭工業大学全体に「価値づくり」が浸透するように、柔軟に迅速に変革を進めていきます。





広告

Special Talk

室蘭工業大学 MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

# 真なる探究心から 未来の価値づくりを。

「専攻」×「領域」で  
高度理工系人材を育てる

「専攻」×「領域」で、高度理工系人材を育てる。これからの時代、専門知識だけでなく、数理・ITスキル・英語スキルなどの基盤スキルも人材を要されるため、理工系専門分野の



室蘭工業大学 学長 松田 瑞史



1992年、日本人初の宇宙飛行士としてスペースシャトルに搭乗した毛利衛氏。現在も最先端の科学技術の普及と研究者の人材育成に努めている毛利氏と、室蘭工業大学 松田瑞史学長に、これからの社会が求める理工系人材について語り合っていました。文中敬称略。

室蘭大の強みの一つは国内唯一の「航空宇宙工学」

「航空宇宙工学」は、国内唯一の実験設備を有し、新たな設備を生み出すのに相応しい環境です。

「航空宇宙工学」は、国内唯一の実験設備を有し、新たな設備を生み出すのに相応しい環境です。

個人学びや研究は 人類社会が生き延びるための 価値を創り現実にする

宇宙飛行士 日本科学未来館名誉館長 毛利 衛 mamoru mohri

Profile  
1948年北海道帯広市生まれ。理学博士。88年日本人初の宇宙飛行士に選ばれる。92年スペースシャトル「エンデバー」搭乗。宇宙実験と宇宙開発を行う。2000年2回目のスペースシャトル搭乗で地球の立体地図作成。03年宇宙探査機「はやぶさ」の搭乗。04年、宇宙科学振興財団理事長に就任。05年、宇宙科学振興財団理事長に就任。06年、宇宙科学振興財団理事長に就任。07年、宇宙科学振興財団理事長に就任。08年、宇宙科学振興財団理事長に就任。09年、宇宙科学振興財団理事長に就任。10年、宇宙科学振興財団理事長に就任。11年、宇宙科学振興財団理事長に就任。12年、宇宙科学振興財団理事長に就任。13年、宇宙科学振興財団理事長に就任。14年、宇宙科学振興財団理事長に就任。15年、宇宙科学振興財団理事長に就任。16年、宇宙科学振興財団理事長に就任。17年、宇宙科学振興財団理事長に就任。18年、宇宙科学振興財団理事長に就任。19年、宇宙科学振興財団理事長に就任。20年、宇宙科学振興財団理事長に就任。21年、宇宙科学振興財団理事長に就任。22年、宇宙科学振興財団理事長に就任。23年、宇宙科学振興財団理事長に就任。24年、宇宙科学振興財団理事長に就任。25年、宇宙科学振興財団理事長に就任。26年、宇宙科学振興財団理事長に就任。27年、宇宙科学振興財団理事長に就任。28年、宇宙科学振興財団理事長に就任。29年、宇宙科学振興財団理事長に就任。30年、宇宙科学振興財団理事長に就任。31年、宇宙科学振興財団理事長に就任。32年、宇宙科学振興財団理事長に就任。33年、宇宙科学振興財団理事長に就任。34年、宇宙科学振興財団理事長に就任。35年、宇宙科学振興財団理事長に就任。36年、宇宙科学振興財団理事長に就任。37年、宇宙科学振興財団理事長に就任。38年、宇宙科学振興財団理事長に就任。39年、宇宙科学振興財団理事長に就任。40年、宇宙科学振興財団理事長に就任。41年、宇宙科学振興財団理事長に就任。42年、宇宙科学振興財団理事長に就任。43年、宇宙科学振興財団理事長に就任。44年、宇宙科学振興財団理事長に就任。45年、宇宙科学振興財団理事長に就任。46年、宇宙科学振興財団理事長に就任。47年、宇宙科学振興財団理事長に就任。48年、宇宙科学振興財団理事長に就任。49年、宇宙科学振興財団理事長に就任。50年、宇宙科学振興財団理事長に就任。51年、宇宙科学振興財団理事長に就任。52年、宇宙科学振興財団理事長に就任。53年、宇宙科学振興財団理事長に就任。54年、宇宙科学振興財団理事長に就任。55年、宇宙科学振興財団理事長に就任。56年、宇宙科学振興財団理事長に就任。57年、宇宙科学振興財団理事長に就任。58年、宇宙科学振興財団理事長に就任。59年、宇宙科学振興財団理事長に就任。60年、宇宙科学振興財団理事長に就任。61年、宇宙科学振興財団理事長に就任。62年、宇宙科学振興財団理事長に就任。63年、宇宙科学振興財団理事長に就任。64年、宇宙科学振興財団理事長に就任。65年、宇宙科学振興財団理事長に就任。66年、宇宙科学振興財団理事長に就任。67年、宇宙科学振興財団理事長に就任。68年、宇宙科学振興財団理事長に就任。69年、宇宙科学振興財団理事長に就任。70年、宇宙科学振興財団理事長に就任。71年、宇宙科学振興財団理事長に就任。72年、宇宙科学振興財団理事長に就任。73年、宇宙科学振興財団理事長に就任。74年、宇宙科学振興財団理事長に就任。75年、宇宙科学振興財団理事長に就任。76年、宇宙科学振興財団理事長に就任。77年、宇宙科学振興財団理事長に就任。78年、宇宙科学振興財団理事長に就任。79年、宇宙科学振興財団理事長に就任。80年、宇宙科学振興財団理事長に就任。81年、宇宙科学振興財団理事長に就任。82年、宇宙科学振興財団理事長に就任。83年、宇宙科学振興財団理事長に就任。84年、宇宙科学振興財団理事長に就任。85年、宇宙科学振興財団理事長に就任。86年、宇宙科学振興財団理事長に就任。87年、宇宙科学振興財団理事長に就任。88年、宇宙科学振興財団理事長に就任。89年、宇宙科学振興財団理事長に就任。90年、宇宙科学振興財団理事長に就任。91年、宇宙科学振興財団理事長に就任。92年、宇宙科学振興財団理事長に就任。93年、宇宙科学振興財団理事長に就任。94年、宇宙科学振興財団理事長に就任。95年、宇宙科学振興財団理事長に就任。96年、宇宙科学振興財団理事長に就任。97年、宇宙科学振興財団理事長に就任。98年、宇宙科学振興財団理事長に就任。99年、宇宙科学振興財団理事長に就任。100年、宇宙科学振興財団理事長に就任。

社会課題解決につながる 産業の芽を興す 高度理工系人材を育てていく

室蘭工業大学 学長 松田 瑞史 mizushi matsuda

世界でも評価される 研究&教育力

- THE世界大学ランキング2024で、1501+位にランクイン
- 「Engineering」で、1001+位にランクイン
- 「Asia University Rankings 2023」で、501~600位にランクイン

QSアジア大学ランキング 2024で、501~600位にランクイン

論文引用指数ランキング(クラリベイト) 分野別論文引用指数(2017~2021年) 「コンピュータ科学」2024年「2位」 「数学」2024年「1位」

「THE世界大学ランキング」と「QSアジア大学ランキング」の両方にランクインしている北海道の大学は、室蘭工業大学を含む2校のみです。

2025年度入試情報

学校推薦型選抜  
・出願期間 / 2025年1月27日(月)~2月5日(水)  
・募集人員 / 昼間90名

一般選抜前期日程  
・出願期間 / 2025年1月27日(月)~2月5日(水)  
・試験日 / 2025年2月25日(日)  
・募集人員 / 昼間220名 夜間20名

一般選抜後期日程  
・出願期間 / 2025年1月27日(月)~2月5日(水)  
・募集人員 / 昼間110名 夜間10名

国立大学法人 室蘭工業大学 MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

TEL.0143-46-5162 nyushi@muroran-it.ac.jp

check! X Instagram YouTube

北海道新聞全面広告 (令和6年12月14日掲載)

## 室蘭工業大学創立75周年記念・ 第4回コンピュータ科学トップランナーセミナー× 本学OBによる生成AI未来セミナーを開催

令和6年12月16日(月)に教育・研究1号館A棟A304講義室において、室蘭工業大学創立75周年記念・第4回コンピュータ科学トップランナーセミナー×本学OBによる生成AI未来セミナーを開催しました。本学関係者(教職員・学生)や一般の方、約155名が参加しました。

コンピュータ科学トップランナーセミナーは、コンピュータ科学分野およびその融合分野の世界トップランナーを講師に招き、最先端の専門知識・技能やその研究開発マインドを学び、専門知識・技能をベースとしたトランスファラブルスキルを養成するために実施しているものです。今回は、講師に本学の卒業生を招き、OBとしての活躍状況や生成AIの未来像を広く共有するため、本学の教職員及び学生に加え、一般の方を対象とした生成AI未来セミナーを同時に開催しました。

日本マイクロソフト株式会社 Microsoft Innovation Hubシニアテクニカルアーキテクトの吉田雄哉氏を講師に招き、「生成AIを取り巻く現状と将来像」と題して、

講演を行いました。

講演は「AIって何？」のキーワードから始まり、信条としていることとして「好きなことにプラスできるものを見つける。例えば、小さい頃からコンピュータが好きなことに対して、分かりやすく説明する、難しい話を聞くのが得意をプラスすることで、企業の課題解決サポートや今回のようなセミナー講師のチャンスが訪れる。ぜひチャレンジしてもらいたい。」など自身の経験を講演いただき、生成AIの今後の未来像、これまでのキャリア、学生への激励のメッセージなど、本学の教職員及び学生、一般の方にとって大変示唆に富む内容を講演いただき、参加者は興味深く聴き入っていました。講演後の質疑応答では、「大規模言語モデルは世論を変えることはできるのか？」や「AIが高度化すると電力不足に陥る、その解決方法は？」など、会場の参加者からの数多くの質問に対して丁寧な説明があり、セミナーは盛況のうちに終了しました。



講演する吉田氏

## 「世界のトップ2%の科学者」に本学から5人がランクイン

令和6年9月16日、米国スタンフォード大学 (Stanford University) とエルゼビア社 (Elsevier) が更新した世界のトップ2%の科学者を特定する包括的なリスト「標準化された引用指標に基づく科学者データベース (更新版)」で、本学から「生涯」区分で4名、「単年」区分で3名、重複を除くと計5名の研究者がランクインしました。

当リストはScopusの情報に基づき、22の研究分野と174のサブ分野で少なくとも5編の論文を發表している科学者を対象として分析。総被引用回数 (自己引用を除く)、h-index、単著論文数、個別引用論文数などの複合的指標により評価されました。

### 「単年」(single recent year) 区分：3名

※公表データ順

董 冕雄 (副学長、しくみ解明系領域・教授)

太田 香 (コンピュータ科学センター長、しくみ解明系領域・教授)

李 鶴 (しくみ解明系領域・准教授)

### 「生涯」(career-long) 区分：4名 ※公表データ順

古賀 俊勝 (名誉教授)

城谷 一民 (名誉教授)

董 冕雄 (副学長、しくみ解明系領域・教授)

太田 香 (コンピュータ科学センター長、しくみ解明系領域・教授)

エルゼビア (Elsevier) ウェブサイト

## 第55回室蘭工大国際セミナーを開催

令和6年12月4日(水)に第55回室蘭工大国際セミナーを開催しました。

本学の卒業生でマレーシア工科大学マレーシア日本国際工科院の上級講師であるKhairunnisa Binti Mohd. Pa'ad (カイルンニサ) 先生が、在外研究のため博士研究員として本学へ再来日しており、今回は「室蘭で学び マレーシアで教え 世界から見た日本を語る」という題目で講演を行いました。

講演では、マレーシアと日本の文化の違いやグローバル社会で生活する上での考え方をお話いただいたほか、スライドを用いて参加者との質問の時間を設けるなどユーモアを交えた講演を行い、参加した約50名の教職員、学生及び一般市民は興味深く聴き入っていました。



講演をする  
Khairunnisa Binti Mohd. Pa'ad (カイルンニサ) 先生

## 「ダイバーシティ社会と女性技術者」をテーマに 学部生を対象としたキャリアデザイン講義を実施

令和6年12月18日(水)に本学理工学部2年生を対象とした選択科目「キャリアデザイン」の講義に、地元企業の日鉄ファーストテック株式会社 総務部上席主幹原田睦弥氏(本学卒業生)、設備部西村明結氏をお招きして、女性活躍推進の取組と理工系女性技術者の働き方について講義をおこなっていただきました。

その講義に先立ち、株式会社マイナビ 曳田英里奈氏より「ダイバーシティ社会と女性技術者」と題し、女性活躍推進の取組について各種制度や現状について紹介をおこなっていただきました。

本学は学修環境をより多様化させ、多様な人と協働し、

地域社会や国際社会の発展に貢献する能力を育み、社会で活躍できる女性技術者・科学者の輩出を目指しています。この取り組みをより推進する一環として、令和7年度入学者選抜の総合型選抜に「女子枠」を創設いたしました。

今回は女子枠創設に伴うポジティブアクションとして本講義を実施いたしました。女性の科学技術分野における働き方と活躍の意義を理解し、女性科学者・技術者としてリーダーシップを発揮し、自ら女性ロールモデルとなるような人材になることを目指す意欲をもつ機会となることを期待しています。



講演する日鉄ファーストテック株式会社 総務部  
上席主幹 原田睦弥氏(本学卒業生)



講演する日鉄ファーストテック株式会社  
設備部 西村明結氏



講演する株式会社マイナビ 曳田英里奈氏



挨拶する相津佳永キャリア・サポート・センター長

## 第34回テクノカフェを開催

令和6年12月21日(土)に紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデンで、第34回室蘭工業大学テクノカフェ(主催:室蘭工業大学ものづくり基盤センター、北海道新聞室蘭支社)を開催しました。

今回は、北海道坂本龍馬記念館館長の林洋二氏をお招

きして、『北海道開拓と坂本龍馬』について、室蘭工業大学の清水一道教授と語っていただきました。

また、午前中に行われたものづくり体験教室では、多くの親子が参加し、錫を使用したオリジナルキーホルダーづくりを楽しんでいました。



ものづくりトークをする林氏(左)と清水教授(右)



ものづくりトークの様子



ものづくり体験で説明する清水教授

## 外部資金

## 民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額 (千円)
もの創造系領域 教授 小室 雅人	大 企 業	500
もの創造系領域 教授 清水 一道	大 企 業	500
しくみ解明系領域 教授 亀川 厚則	中 小 企 業	1,040
しくみ解明系領域 教授 徳楽 清孝	大 企 業	2,200
合 計 (4件)		4,240

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

## 受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額 (千円)
もの創造系領域 教授 有村 幹治	大 企 業	2,000
合 計 (1件)		2,000

## 奨学寄附金の受入れ

寄附者	目的	金額 (千円)
公益財団法人ときわ会	工学研究助成	2,500
株式会社ドーコン	工学研究助成	660
株式会社ドーコン	工学研究助成	560
株式会社ドーコン	工学研究助成	330
三菱製鋼株式会社	工学教育助成	100
勇建設株式会社	工学研究助成	2,000
スチールプラントック株式会社	工学研究助成	500
スチールプラントック株式会社	工学研究助成	500
公益社団法人日本鑄造工学会	工学研究助成	250
合 計 (9件)		7,400

## 人 事

## 人 事 異 動

国立大学法人  
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和7年1月1日	〈昇 任〉 大学院工学研究科准教授（ひと文化系領域）	SUSTENANCE SCOTT NIGEL	大学院工学研究科講師 （ひと文化系領域）
令和6年12月20日	〈雇用期間満了〉	菊 地 亜 矢	保健管理センター 事務補佐員
令和7年1月1日	〈雇用期間更新〉	坂 本 志 布	総務広報課秘書広報係 事務補佐員

## 学内会議

### 学内各種委員会等の開催

<11月25日～12月24日>

**開催日時** 令和6年11月27日(水)  
**会議名** 第5回経営協議会

**開催日時** 令和6年11月27日(水)  
**会議名** 第21回役員会

**開催日時** 令和6年11月28日(木)  
**会議名** 第6回大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議

**開催日時** 令和6年12月3日(火)  
**会議名** 第14回企画戦略会議

**開催日時** 令和6年12月10日(火)  
**会議名** 第22回役員会

**開催日時** 令和6年12月12日(木)  
**会議名** 第7回教育研究評議会

**開催日時** 令和6年12月12日(木)  
**会議名** 第23回役員会

**開催日時** 令和6年12月17日(火)  
**会議名** 第15回企画戦略会議

**開催日時** 令和6年12月19日(木)  
**会議名** 第4回教授会・工学研究科委員会

**開催日時** 令和6年12月24日(火)  
**会議名** 第24回役員会

## 学内行事

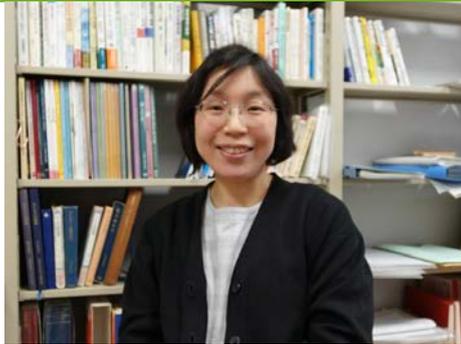
- 12月4日(水) 教職員のためのダイバーシティセミナー2024
- 12月6日(金) 合格発表【令和7年度編入学一般入試(第2次募集)・マレーシア・ツイニングプログラム入試】
- 12月16日(月) 室蘭工業大学創立75周年記念・第4回コンピュータ科学トップランナーセミナー  
×本学OBによる生成AI未来セミナー

## 学外行事

- 12月6日(金) 新たな共創拠点(札幌サテライトオフィス・エア・ウォーターの森)オープニングイベント(札幌市)
- 12月21日(土) 第34回テクノカフェ(札幌市)

Part 06

准教授  
山田祥子



- ①専門：言語学（ウイルト語）  
業務内容：英語教育
- ②未来志向・不屈のチャレンジ精神・意思決定の速さ
- ③正門周辺と中庭、多様な樹木が四季折々の装いを見せてくれます

Part 07

事務職員  
デジタルキャンパス推進室員  
田嶋学



- ①デジタルキャンパス推進、大学内データの分析・活用最適化・データマイニング・AI
- ②職員一人一人が自ら考え、挑戦できる場所！
- ③本部棟3F経営企画課オフィス空間、図書館2Fカウンタースペース、TENTO

Part 08

教授  
有村幹治



- ①都市計画・交通計画・防災計画
- ②気持ちのある学生はどこまでも成長できる学習環境、海外でも活躍可
- ③図書館土専文庫（旧土木専門部文庫）展示室 札幌農学校から連なる歴史が分かります！

# 室蘭工業大学 人物図鑑

室蘭工業大学に所属する教員・職員に  
専門分野、業務内容、室工大の  
Good Pointなどを聞いてみました。

- ①専門・業務内容
- ②室工大のGood Point
- ③室工大で好きなspot



Part 09

准教授  
立山耕平



- ①材料力学、衝撃工学
- ②産学連携が豊富で、特に地域社会との連携が強いと感じています
- ③体育館、グラウンド。プールも欲しいですが、室工大にはないです...

Part 10

教授  
戎修二



- ①磁性・極低温物性
- ②チューター制度を通して、学生と教員の間に関係性が築けるところ
- ③研究棟高層階から眺める太平洋

## 編集後記

---

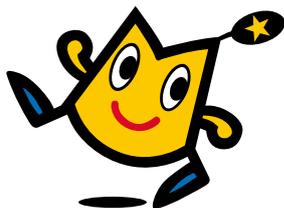
◆ 2025年、巳年がスタートしました。

「真なる探究心から未来の価値づくりを。」をスローガンとした松田学長新体制がスタートし、今年4月で1年を迎えます。室工大は「北海道と共に、次世代の研究、価値づくり」に貢献するという使命があります。価値づくりの過程を皆様にスピーディに、分かりやすく伝えるのが広報の役割と認識しております。新鮮な室工大の今をお伝えできるように、学内外のアンテナ機能を強化していきたいと思っております。この学報もさらに親しみを持っていただく内容とすべくリニューアルをしたいと思っております。

(Garoon：総務広報課秘書広報係、E-mail：koho@muroran-it.ac.jp)

(総務広報課秘書広報係)

---



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

- 編集発行 室蘭工業大学総務広報課  
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014
- 印刷所 株式会社日光印刷  
電話 0143-47-8308